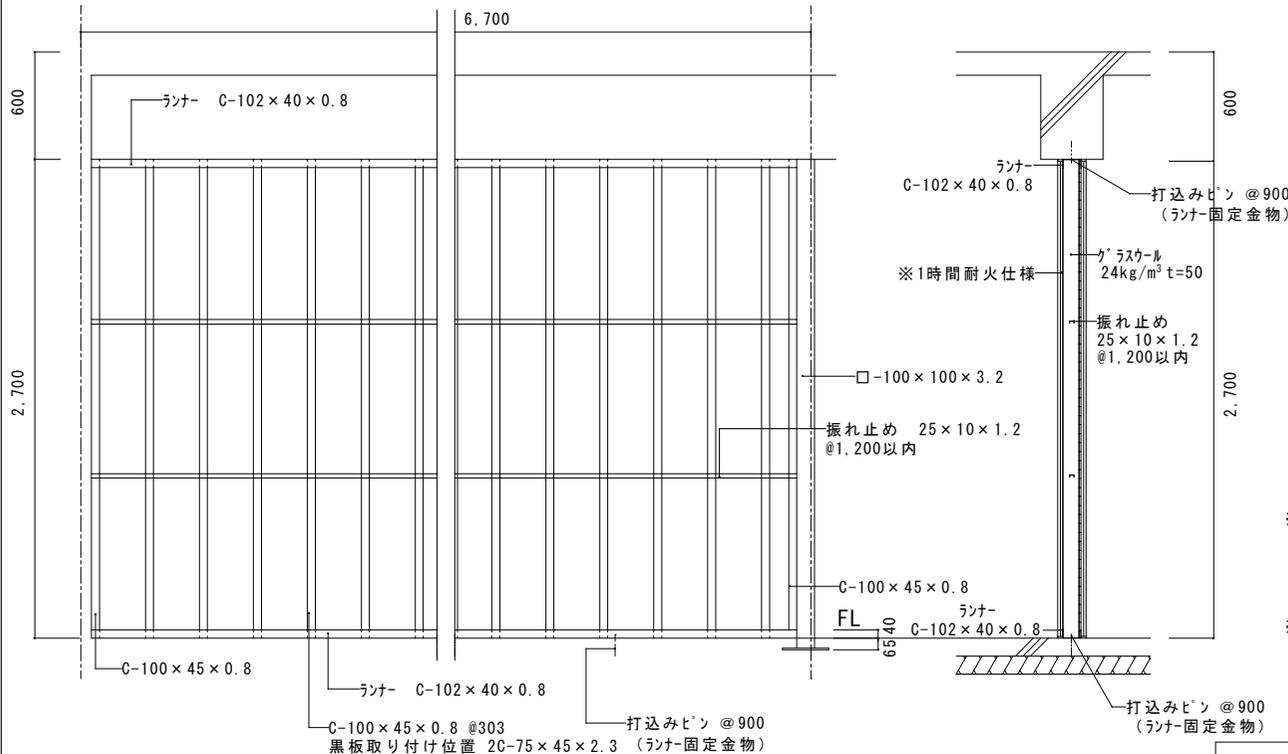
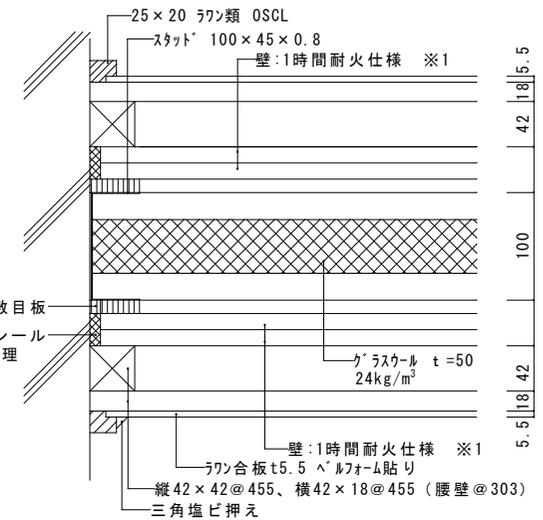


ランナー Spacerタイプは壁高さ3.5mまで  
敷目板タイプ（触れ止め有）は4mまで

LGS 割付平面図 S=1:20



LGS 立面図 S=1:30

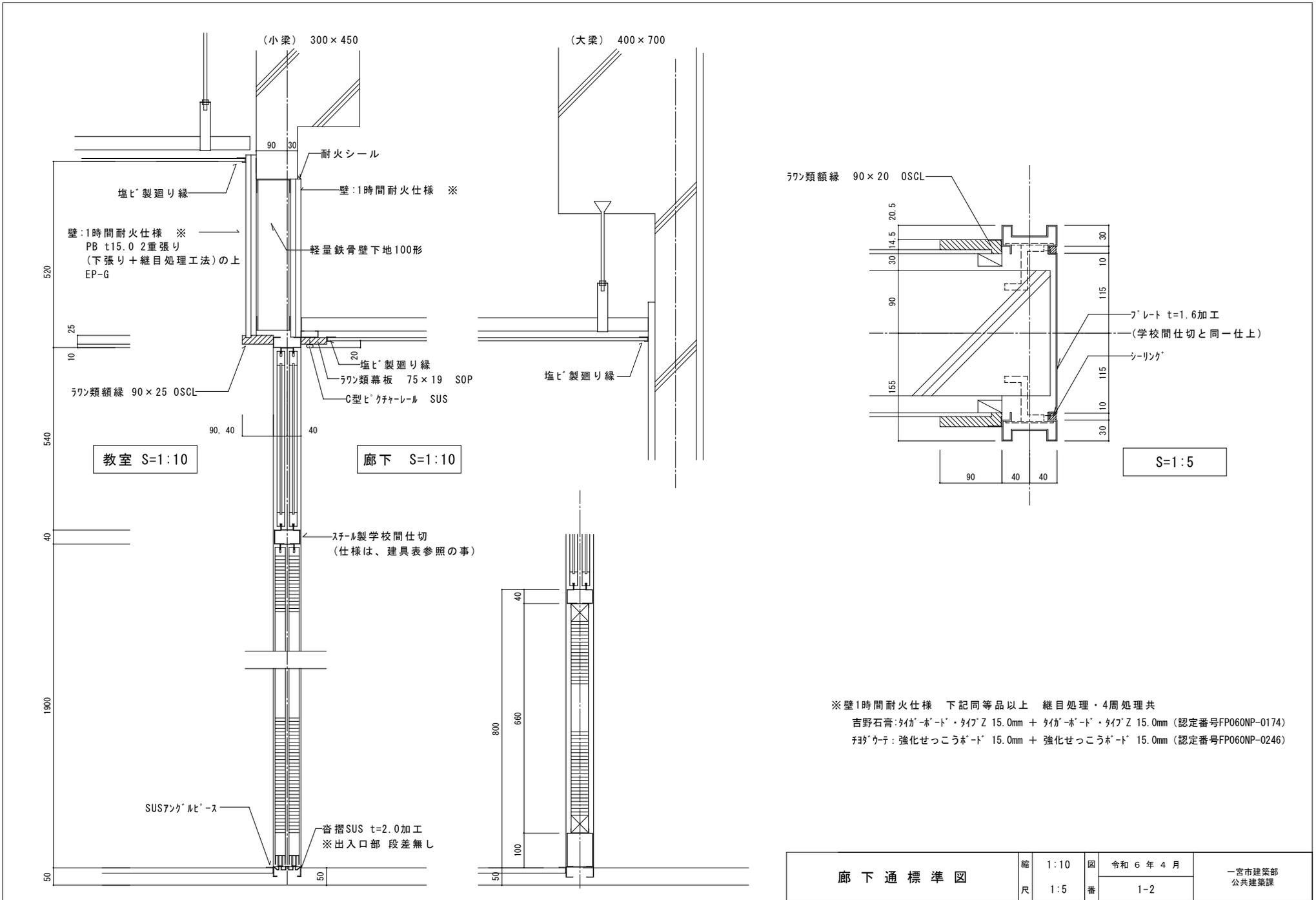


A部詳細図 S=1:5

- ※1 壁1時間耐火仕様（下地ガラス）下記同等品以上 継目処理・4周処理共  
吉野石膏:B15・W1 敷目板タイプ（タイガード・タイプZ 15mm 2重張り） 認定番号FP060NP-0175  
敷目板 タイガード 12.5mm
- ※2 敷目板  
触れ止め:耐火カーネル5C-G（強化せっこうボード 15mm 2重張り） 認定番号FP060NP-0247
- ※1時間耐火仕様に支障のないものとする。

教室間仕切壁標準図	縮	1:5	図	令和6年4月	一宮市建築部 公共建築課	
	尺	1:20		番		1-1(1)
		1:30				





## 木製建具

- 1 建具寸法は、仕上げ寸法とする。
- 2 ベニヤは全て 完全耐水合板 T1 とする。(3mm 2枚合わせ)
- 3 付属金物は、全て見本品提出の上決定する。
- 4 硝子は、全て シリコンシーリングのこ。 (ヒシプレート共)
- 5 レール穴は、@300 両端 1/3以内とする。(レールは SUS甲丸レール SUS304)
- 6 建具寸法は参考程度にて、施工寸法は現場にて寸法を取る。
- 7 ドアガラスは、7ミリ製とする。

## フラッシュアップ・スクリーン

- 1 上下框は 4枚はぎ合わせとし、堅框は 3枚はぎ合わせとする。堅框の内吊元は検使用。その他は杉材とする。中骨は見付幅 25mm以上 縦横共 @150とする。但し、W=600以内は堅骨なしとする。
- 2 ベニヤフラッシュアップ・スクリーンに 金物を付ける所には、補助棧を取付けること。(紙巻用 100×300×29、ロータンク用 50×300×29、手摺用 200×200×29)

## 鋼製建具

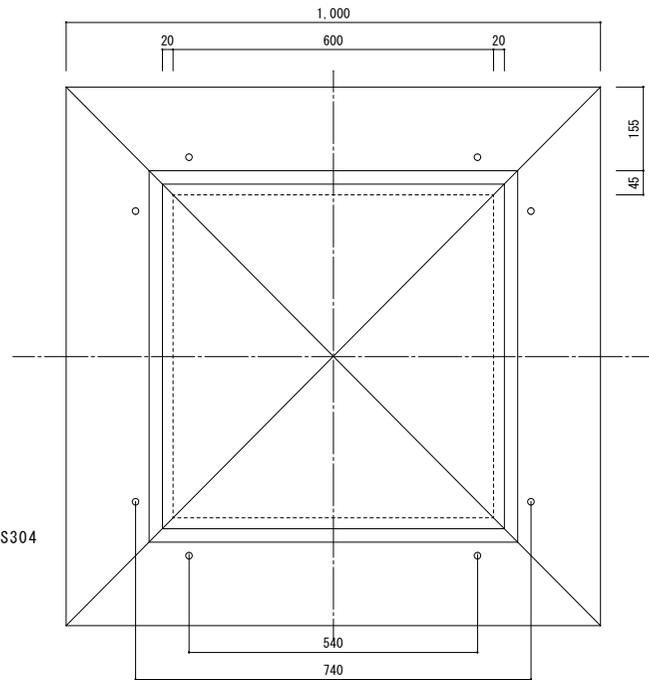
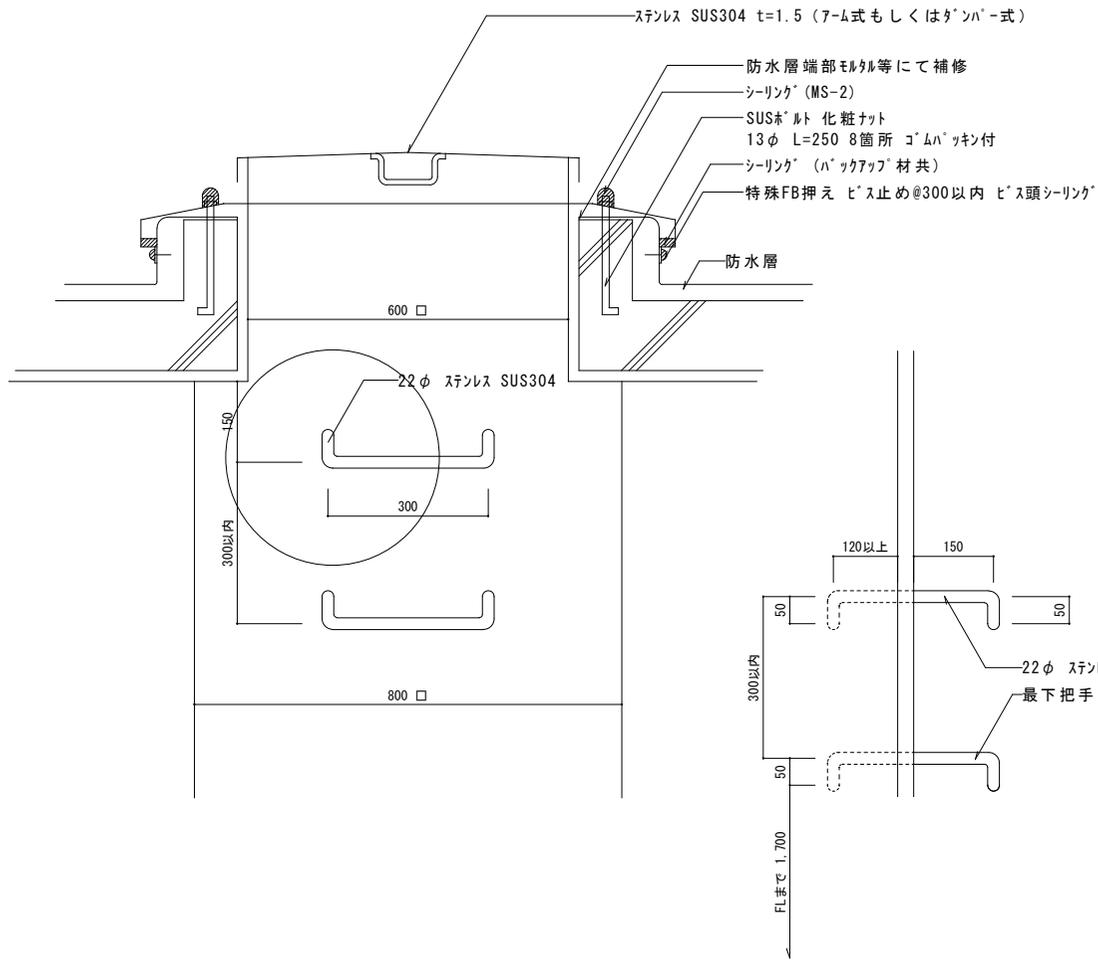
- 1 鋼製建具の鋼板は ホンテ鋼板とする。
- 2 外部枠外回りは、4方シーリングのこ。
- 3 記入寸法は、外枠内法寸法とする。
- 4 取付は、@450以内とし、両端 @100以内とする。
- 5 塗装は、工場にて防錆塗料吹付2回、現場搬入後直ちに、DP 2回塗りのこ。
- 6 シャッターにおいて、プルアップ式とあるのは、手動フック巻上げ方式とする。
- 7 ドアは、硝子、パネル共 シリコンシーリングのこ。
- 8 指定メーカーは、一宮市建築部公共建築課 工事標準仕様書 (建築工事編) 最新版による。

## スチール製学校間仕切

- 1 枠 : 亜鉛メッキ鋼板 t=1.2 焼付塗装とする。
- 2 引違いドア下枠 : SUSプレート t=1.5 車輦落下防止、ゴミはき出し用勾配プレート付とし、内部側 SUSアングルヒール取付とする。
- 3 障子 : 亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 焼付塗装 (各メーカー仕様) とする。
- 4 ドアパネル : 化粧鋼板 t=0.5 (芯材 ベーパ-ロールコア)。
- 5 壁パネル : 特記なき限り 合板フラッシュ (芯材 ベーパ-ロールコア) 下地化粧鋼板 t=0.5 両面張りとする。
- 6 硝子 : 特記なき限り ランマトメイ強化 t=4.0、中窓 強化 (透明・型) t=4.0、ドア視窓 強化 (透明・型) t=4.0 (600×600) ガラス押えシール共。
- 7 付属金物 : 特記なき限り下記に依る。  
引違いドア : 正面は、シーリング本締り鎌錠、背面は内蔵2重クレセントとする。引手、戸車。  
片開きドア : レバーハンドル、シーリング本締り錠 (サムターン付)、丁番 (3枚吊り)、ドアチェック、戸当り。  
引違い窓 : 引手、戸車、クレセント。  
※但し戸車のスプアーを 10% 用意すること。
- 8 巻摺 : 開きドアのみ SUSプレート t=2.0 加工とし、内部側 SUSアングルヒール取付とする。
- 9 指定メーカー : 一宮市建築部公共建築課 工事標準仕様書 (建築工事編) 最新版による。

共通 新設工事においては、マスターキー 3個、キーボックス 1個付とし、増築工事、改造工事においては、監督員の指示による。

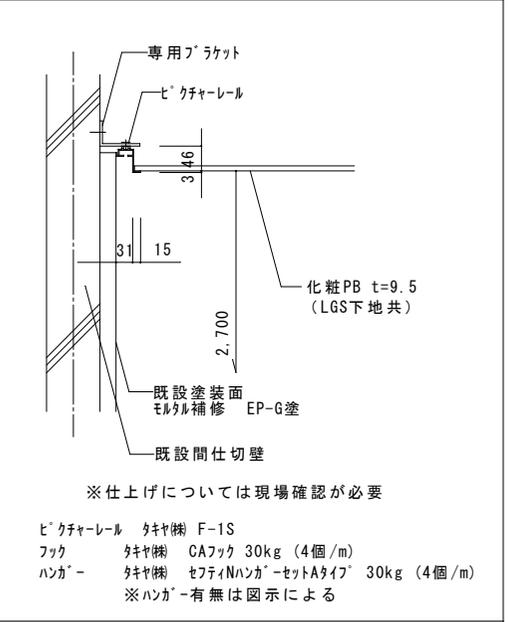
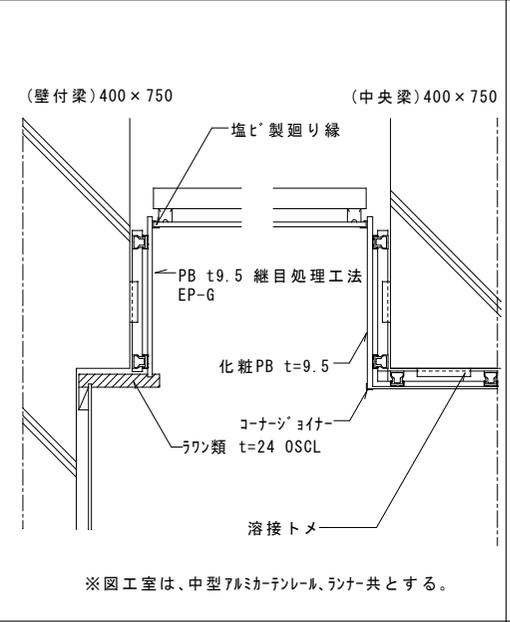
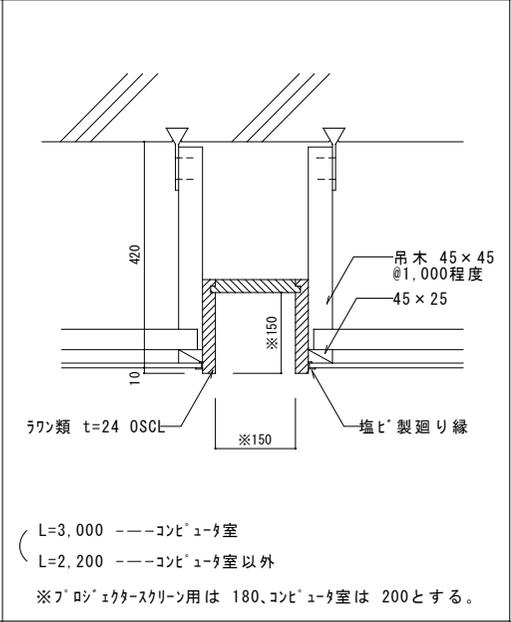
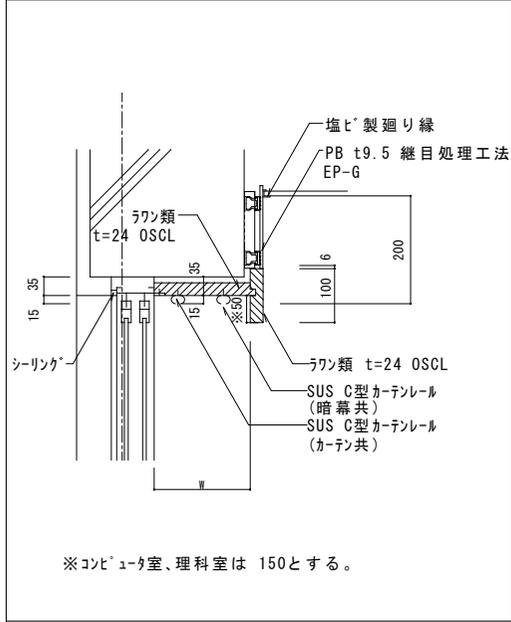
建具特記事項標準図	縮尺	図番	令和 6 年 4 月	一宮市建築部 公共建築課
			1-3	



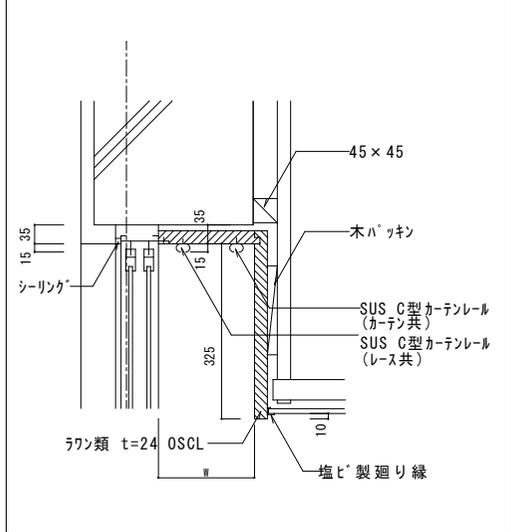
※市販品でも可。但し、監督員の承諾を得る事。  
 ※南京錠取付。  
 ※予備錠 1個付。  
 ※改修の場合既設ホルトを利用する事。

屋根改め口標準図	縮尺	1:10	図番	令和 6 年 4 月 1-4	一宮市建築部 公共建築課
	尺		番		

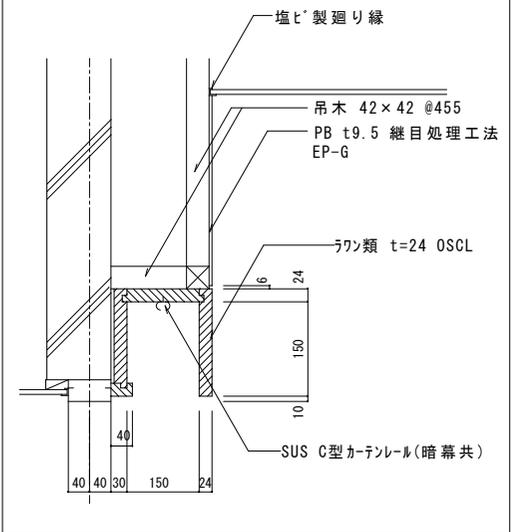
カーテンBOX 詳細図 (一般)      スクリーンBOX 詳細図      梁型詳細図      展示用レール詳細図



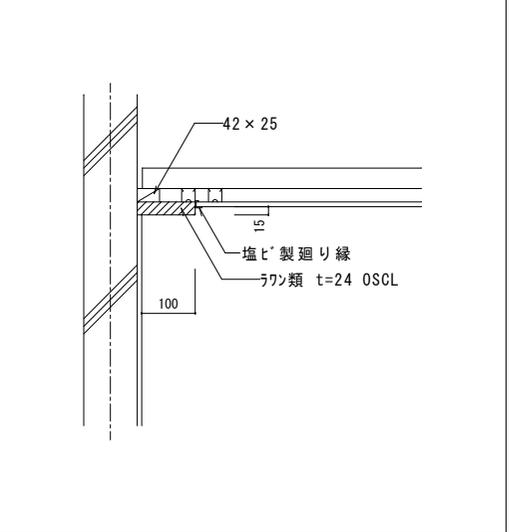
カーテンBOX 詳細図 (校長室・更衣室・放送室)



暗幕BOX 詳細図 (理科室・コンピュータ室)

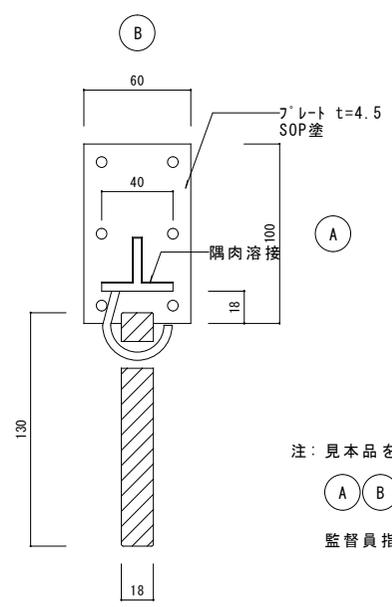
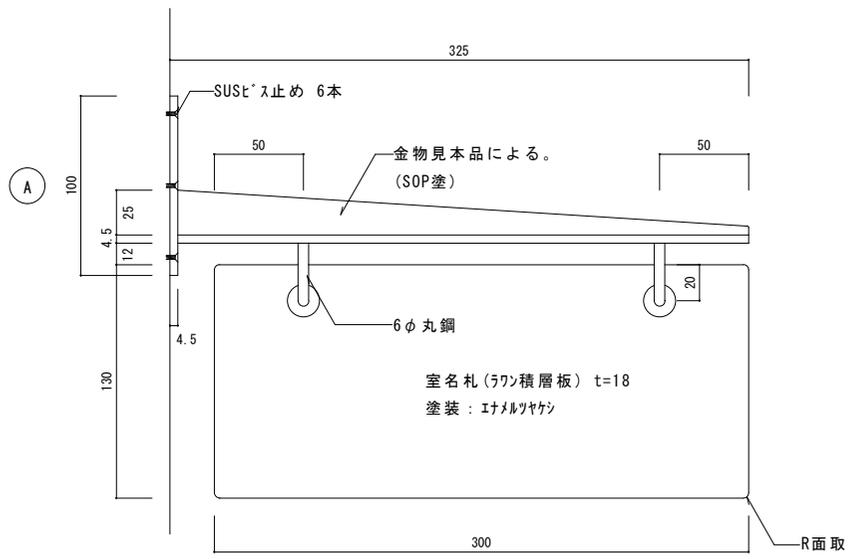


図掛 取付詳細図 (理科室・コンピュータ室)



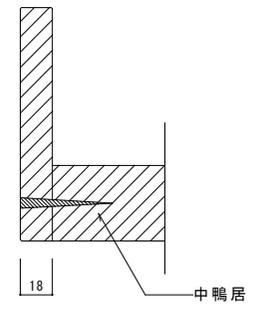
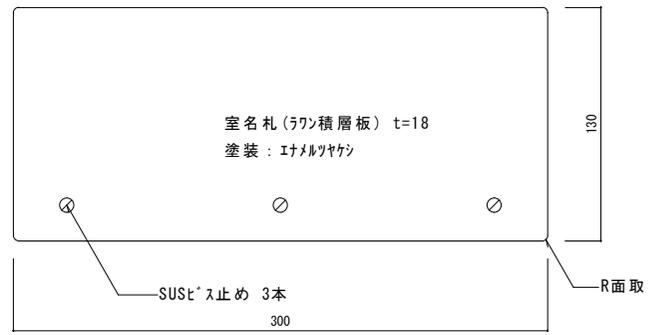
カーテンBOX・暗幕BOX 幅

W	
150	レース ケースメント ドレープ レース + ドレープ
120	ブラインド
180	ブラインド + レース 暗幕 + ケースメント 暗幕 + ドレープ



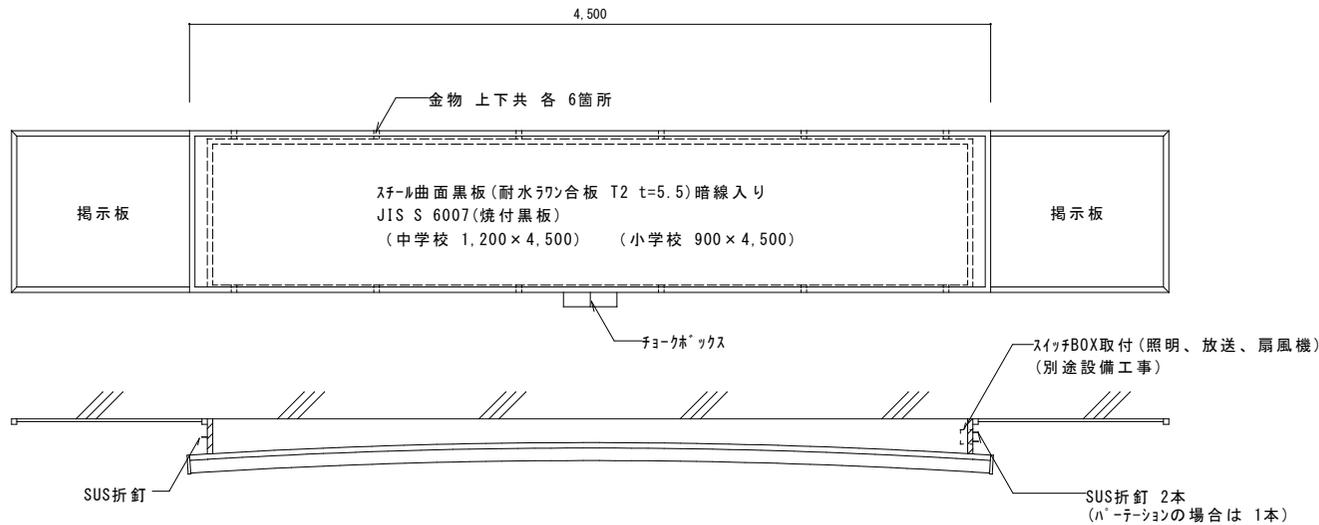
持出型

注: 見本品を提出し、承諾後製作のこと。  
 (A) (B) 部分の寸法は、現場取付位置により  
 監督員指示の上決定。

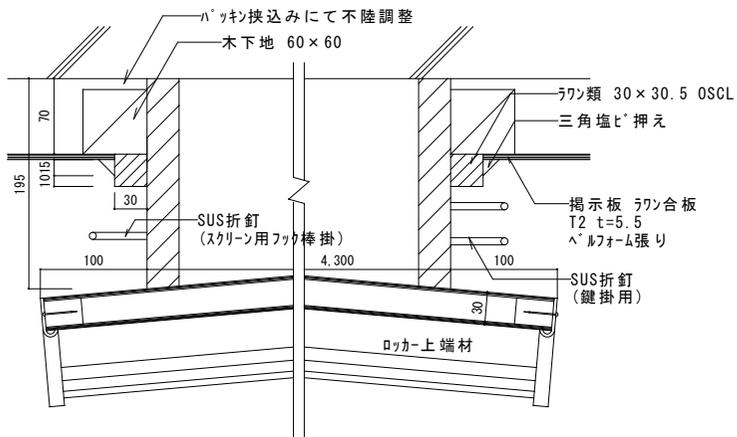


正付型

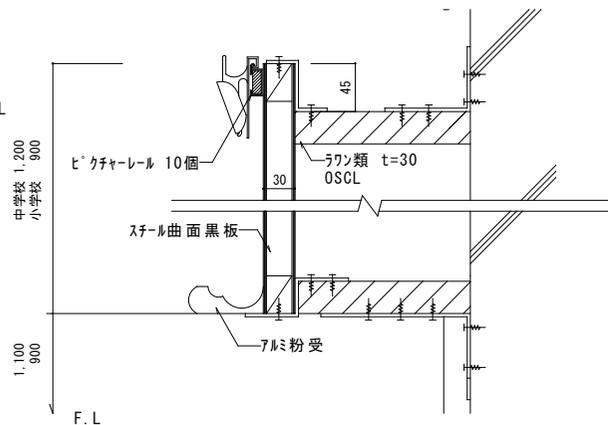
室名札標準図	縮尺 1:3	図番	令和6年4月	一宮市建築部 公共建築課
			2-2	



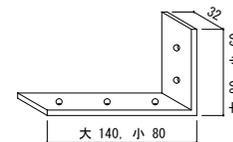
S=1:30



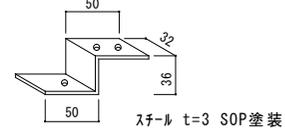
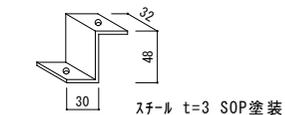
S=1:5



S=1:5



枠取付金物 上部 小 6箇所  
下部 大 2箇所  
小 4箇所  
スチール t=大5, 小3 SOP塗装



スチール黒板取付金物 上部下部共 各 6箇所

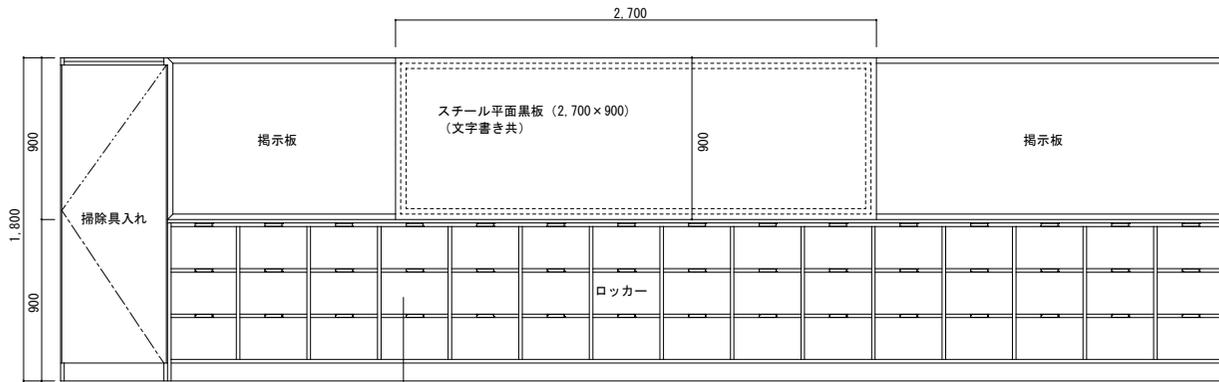
S=1:5

※マグネット (40φ 白) 10個付

曲面黒板標準図

縮尺	1:5	図番	令和 6 年 4 月	一宮市建築部 公共建築課
	1:30		2-3	

平面黒板・生徒用ロッカー S=1:30

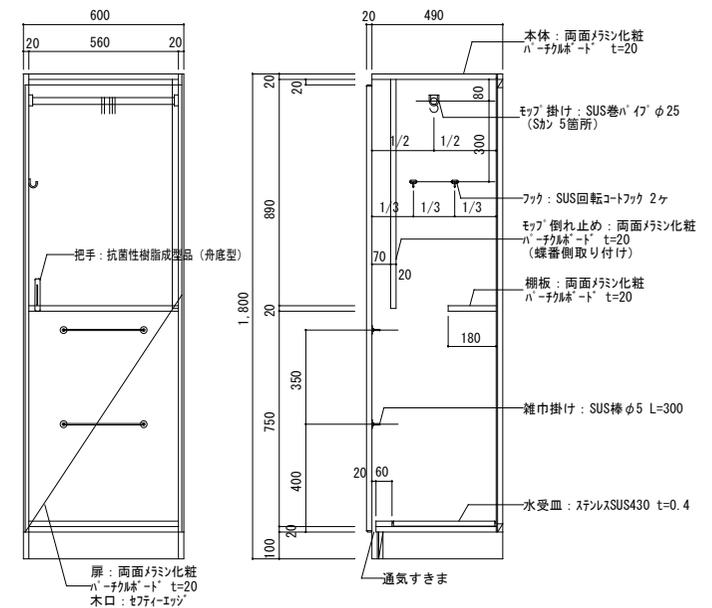


15列3段=45人分  
1人分最小有効W360以上確保

※文字書は、学校側と調整し監督員の承諾を受けること。

1 本体・扉・棚板は両面珪酸化被ハ-チクル-ト <sup>®</sup> 20mm厚 F☆☆☆☆規格適合品、JIS-A5908適合品を使用すること。	5 開き戸は両面珪酸化被ハ-チクル-ト <sup>®</sup> 20mm厚1枚物で制作すること。
2 本体・棚板の木口処理は 背面の見え隠れ部を含む木口をフラットエッジ <sup>®</sup> 加工 (塩ビシート かつり貼線付処理) とすること。	6 巾木・台輪は合板下地貼り合板貼りを使用すること。
最上部天板、開き扉の木口は セフティーエッジ <sup>®</sup> (塩ビシート3mm厚かつり貼接着 7-ル加工処理) とすること。	7 引手・把手は抗菌性の樹脂成型品を使用すること。
3 裏板はポリ化粧合板 4mm厚 片面フラット加工とし 芯材ビ <sup>®</sup> ツは450mm以内とすること。	8 蝶番はスライド <sup>®</sup> 蝶番を使用すること。
4 可動棚の棚受けはSUS製ダ <sup>®</sup> ネ φ8を使用し、棚板はダ <sup>®</sup> ネ受け加工 (ツクリ処理) をすること。	9 ネムプレートは、1教室につき予備品10個用意すること。

掃除用具入れ詳細図 S=1:20

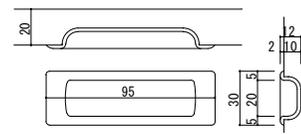
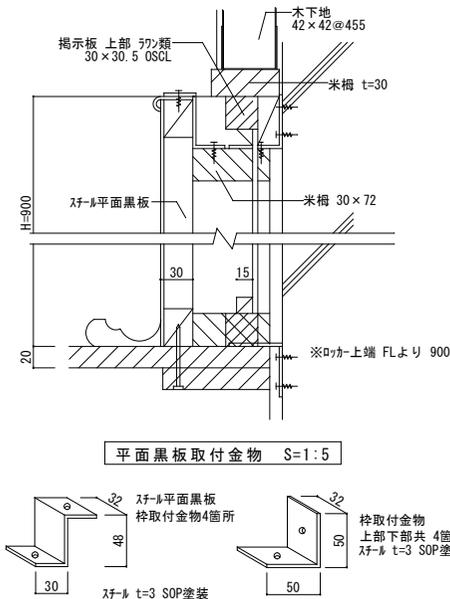
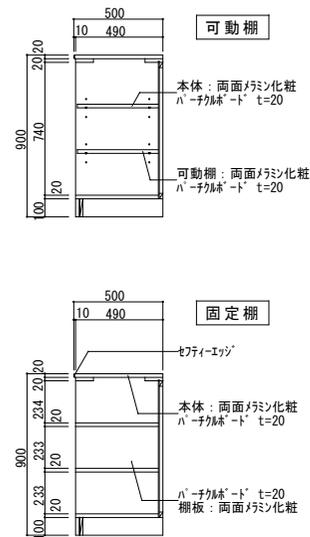


生徒用ロッカー断面詳細図 S=1:30

平面黒板 上下部取付詳細図 S=1:5

引手 (樹脂成型品) 詳細図

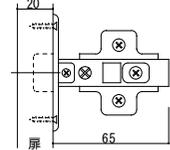
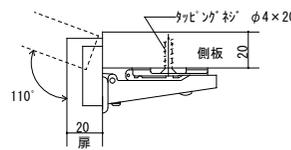
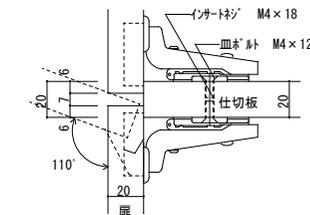
木口形状詳細図



中仕切取り付け

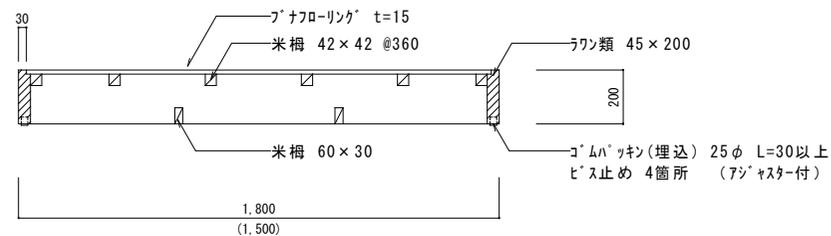
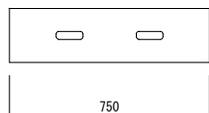
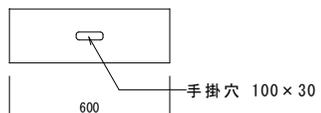
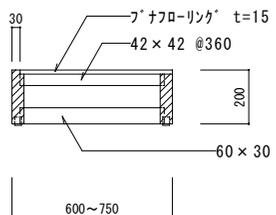
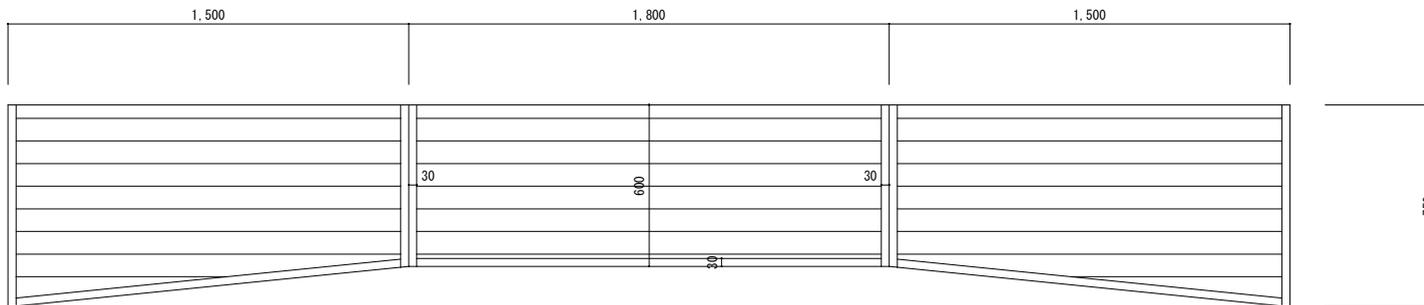
側板取り付け

スライド蝶番 110° 詳細図



平面黒板・生徒用ロッカー  
掃除用具入標準図

縮尺	1:5 1:20 1:30	図番	令和 6 年 4 月 2-4	一宮市建築部 公共建築課
----	---------------------	----	-------------------	-----------------



※塗装：水性2液型ポリウレタン  
 ※仕口：接着剤使用のこと

踏台標準図

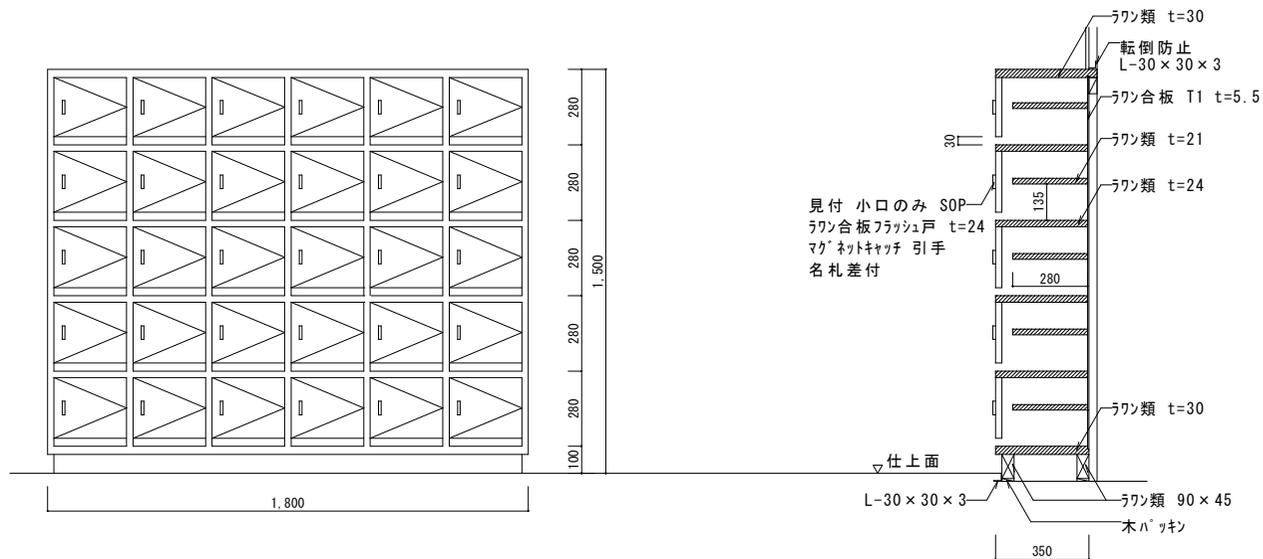
縮尺

1:20

図番

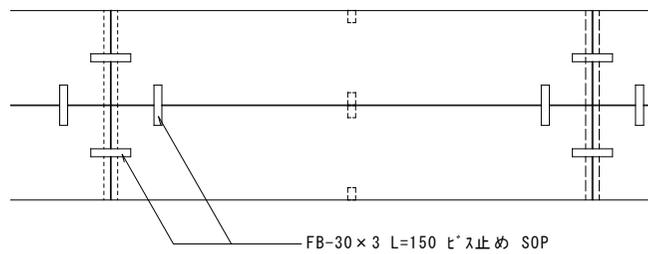
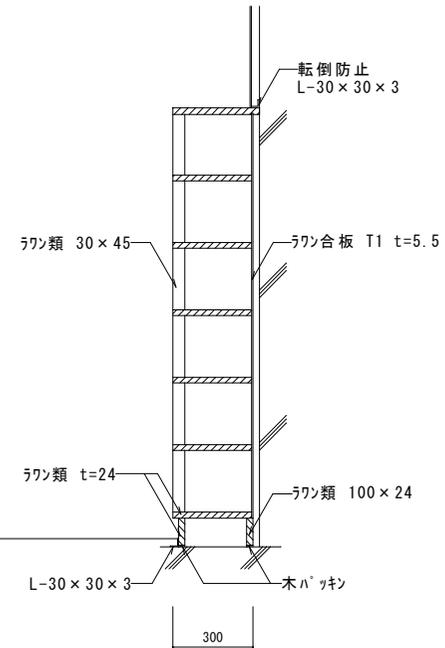
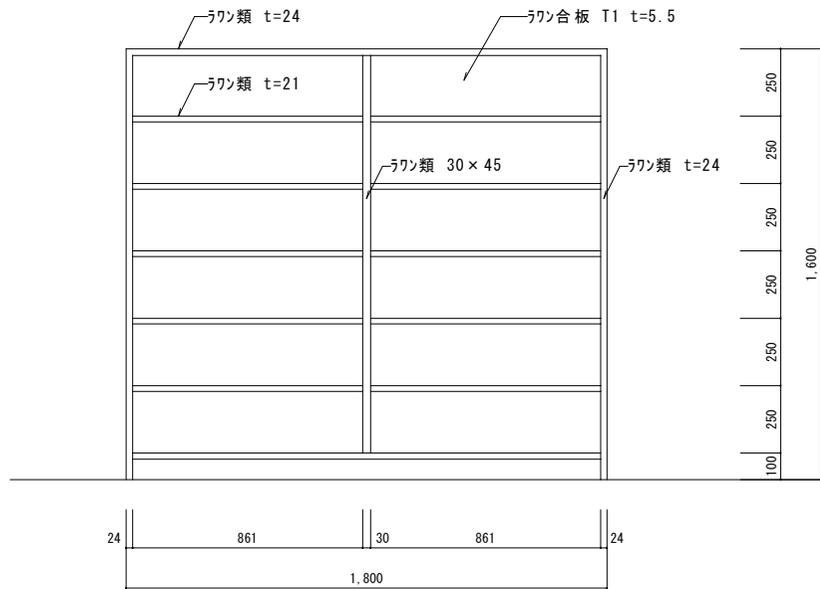
令和6年4月  
2-5

一宮市建築部  
公共建築課



特記事項：教師用として使用する場合、扉は上記のものを使用すること。  
 又、来賓用の扉は、7クリル板 t=5 引手、マグネットキャッチ付にすること。  
 ：図面中、ラワン類 t=24、t=21と表示してあるものは、ラワン類 t=24、t=21としても良い。  
 ：外部 SOP、内部 OS塗りとする。

来賓用下足入標準図	縮尺	1:20	図	令和6年4月	一宮市建築部 公共建築課
			番	2-6	



※塗装：内装のみ OS、その他は SOP塗りとする。

※図面中 ラワン類 t=24、t=21と表示してあるものは、ラワン類 t=24、t=21としても良い。

生徒用下足入標準図

縮尺

1:20

図番

令和6年4月

2-7

一宮市建築部  
公共建築課

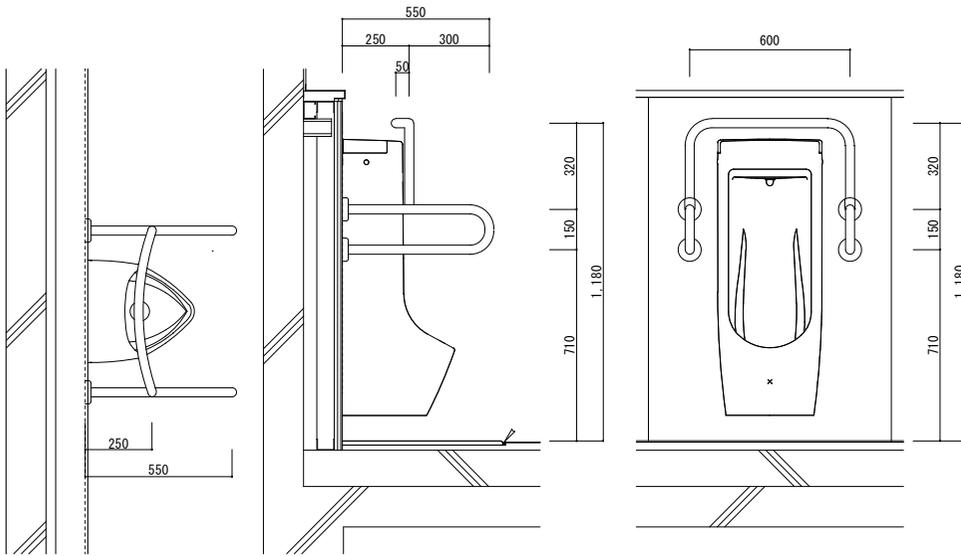
	ヤン置台	ハン置台	ミルク置台
断面	<p>       転倒防止 L-30×30×3        ラン合板 T1 t=5.5 SOP        57×57 SOP        ランハ'-37 t=21 SOP        100×62 SOP        L-30×30×3        100×57 SOP        全段SUS t=0.3巻き込み     </p>	<p>       転倒防止 L-30×30×3        57×57 SOP        ラン合板 T1 t=5.5 SOP        集成材 t=21 SOP        100×62 SOP        L-30×30×3        100×57 SOP        全段SUS t=0.3巻き込み     </p>	<p>       転倒防止 L-30×30×3        ラン合板 T1 t=5.5 SOP        57×57 SOP        集成材 t=21 SOP        100×62 SOP        L-30×30×3        100×57 SOP        全段SUS t=0.3巻き込み     </p>
平面	<p>       500        750        57×57 SOP        SUS t=0.3巻き込み        新設固定型 L750×W500×H1,100     </p>	<p>       700        1,000        57×57 SOP        SUS t=0.3巻き込み        新設固定型 L1,000×W700×H1,500     </p>	<p>       500        800        57×57 SOP        SUS t=0.3巻き込み        新設固定型 L800×W500×H1,300     </p>

※各台が連続して置かれる場合には、監督員の承諾を得て部分的に柱を省略することができる。  
 ※背板 ラン合板 T1 t=5.5 SOPは、壁付部分のみ張ること。  
 ※特記なき限り材質は米桐とする。  
 ※全てSOP 3回塗り。

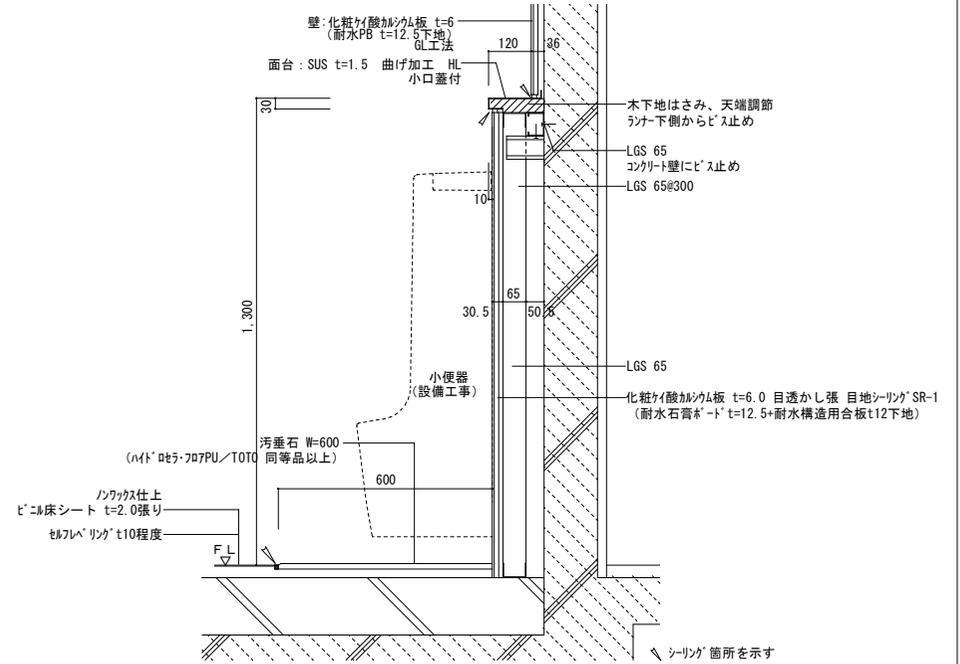
縮尺	1:20	図	令和6年4月	一宮市建築部 公共建築課
		番	2-8	

ミルク・ハン・ヤン置台標準図

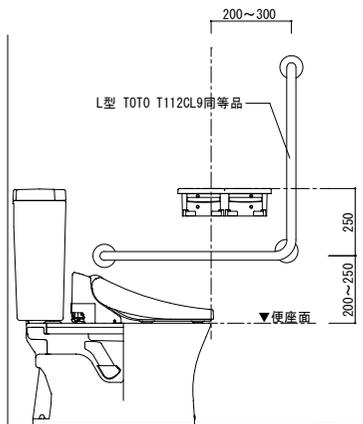
小便器用手摺 S=1:20



小便器床及び面台詳細図(乾式) S=1:15



大便器用手摺 S=1:20



・洋便器芯は、手摺芯から水平距離350mm程度とする。

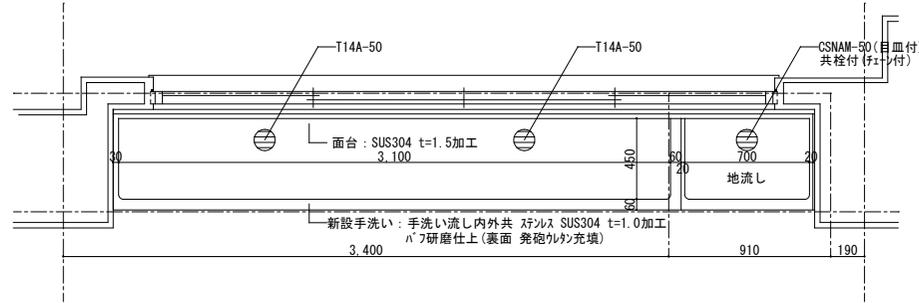
■特記事項

- ・手摺は、TOTO T112CL9同等品とする。
- ・各手摺は、手摺メーカー取付仕様もしくは、下記により設置すること。  
 新設RC・CB壁の場合は、壁筋に溶接の上、手摺設置  
 LGS壁の場合は、構造用合板(t12.0)等による下地補強の上、手摺設置  
 RC直張り(GL工法)の場合は、あと施工アジャスター周囲モルタル詰めの上、手摺設置
- ・手摺の根元は、全てシーリング充填のこと。
- ・手摺の根元には、SUS化粧丸座を取付けること。
- ・手摺寸法は参考とし、衛生陶器・スイッチ・センサー等の取付位置を確認の上、監督員と協議により決定する。
- ・和便器手摺位置は和便器先端から150mm程度とする。

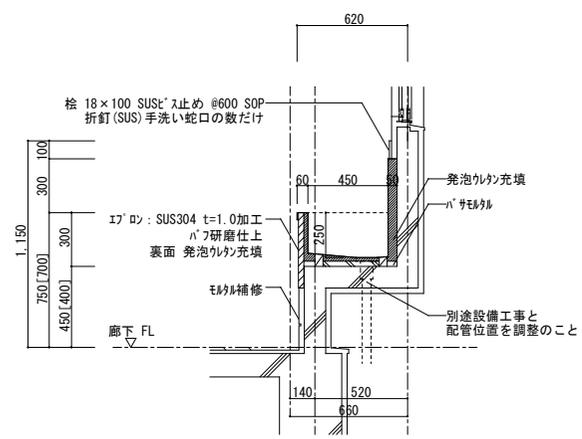
学校用便器用手摺等標準図

縮尺	1:15	図番	令和6年4月	一宮市建築部 公共建築課
	1:20		2-9	

手洗い平面図

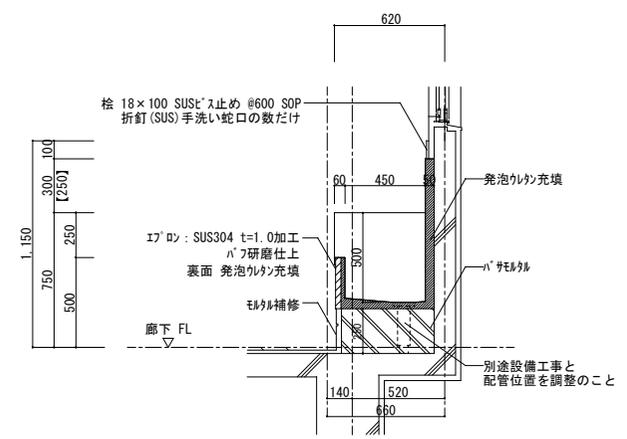


2F以上の手洗い断面図



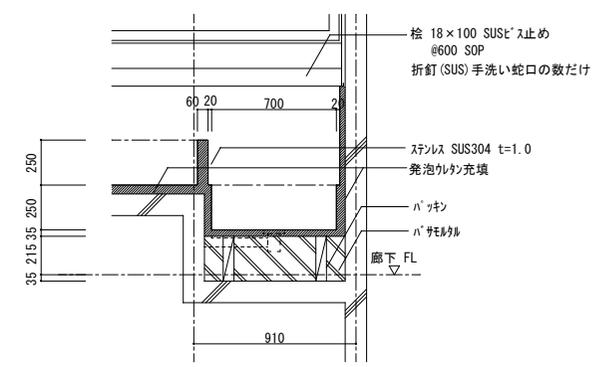
※[ ]内寸法は、小学校に適用する。  
流し廻り シーリングのこと。

1F地流し断面図



※[ ]内寸法は、小学校に適用する。  
流し廻り シーリングのこと。

地流し断面図



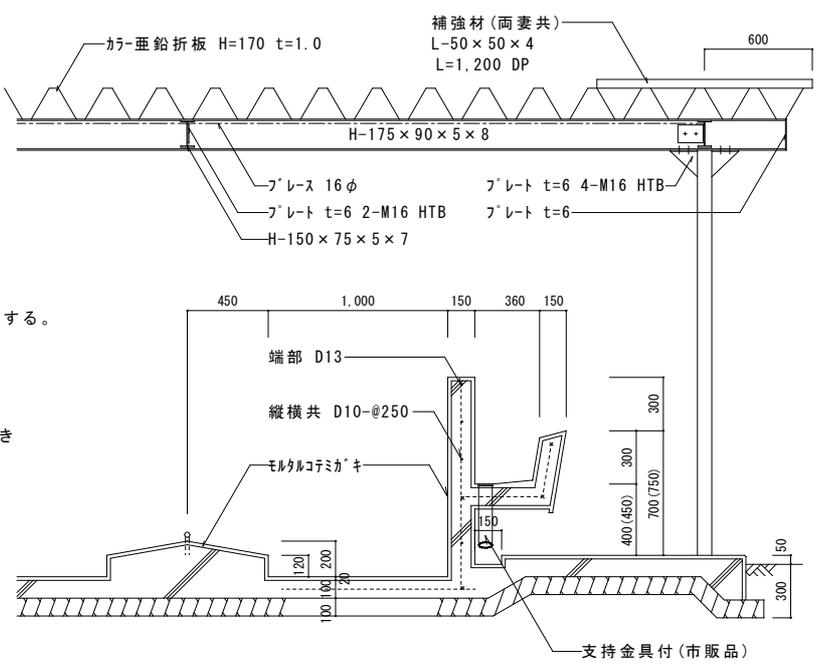
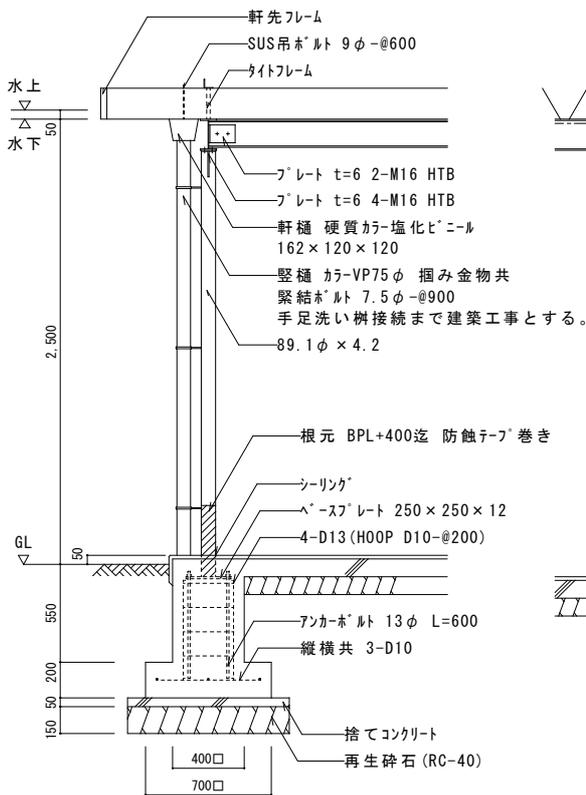
手洗い標準図

縮尺	1:30	図番	令和6年4月 2-10	一宮市建築部 公共建築課
----	------	----	----------------	-----------------

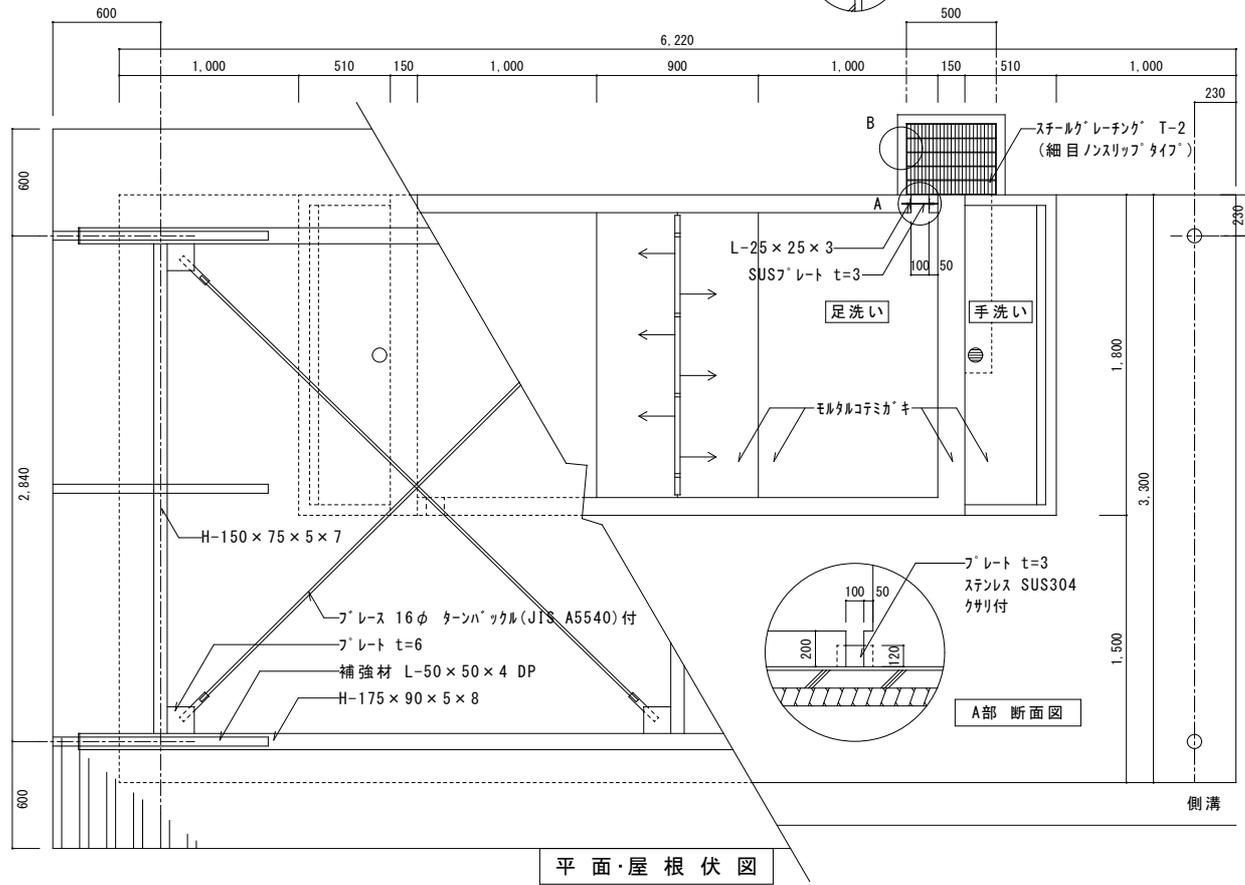
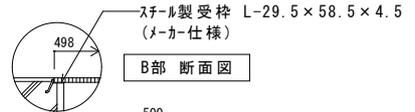
手足洗い場標準図

縮尺 1:30  
 令和6年4月  
 3-1

一宮市建設部  
 公共建築課

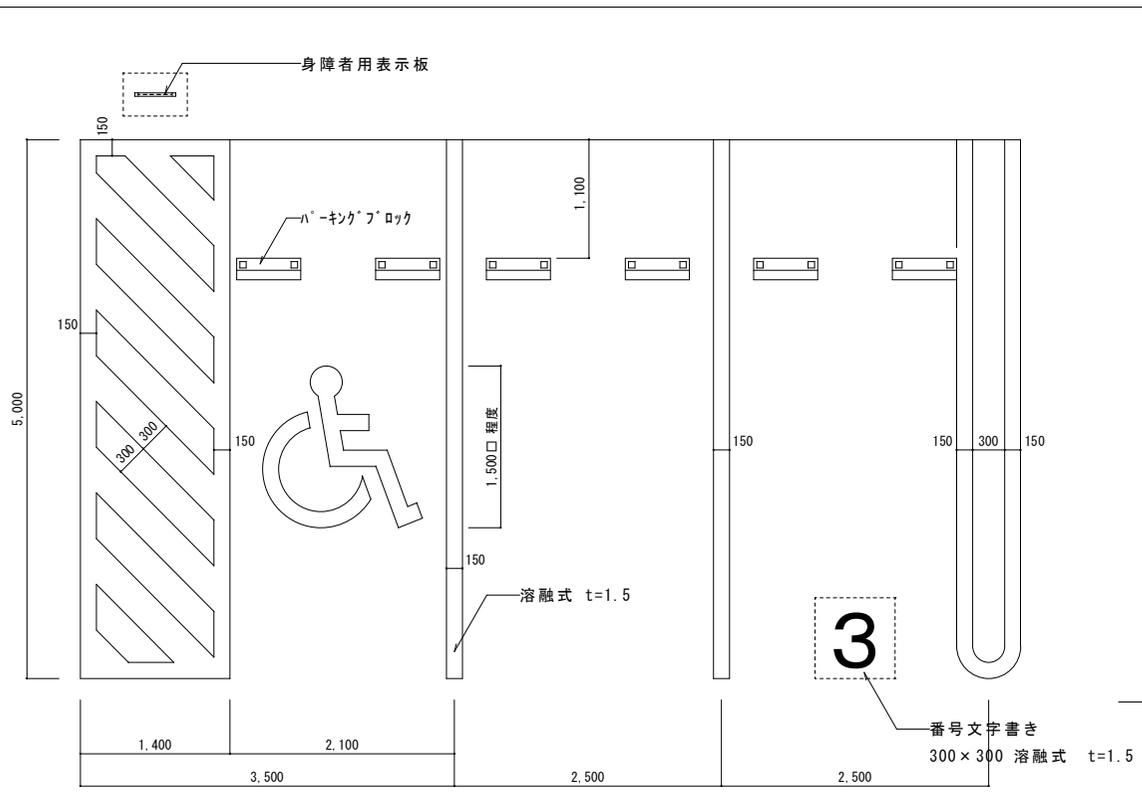


断面詳細図

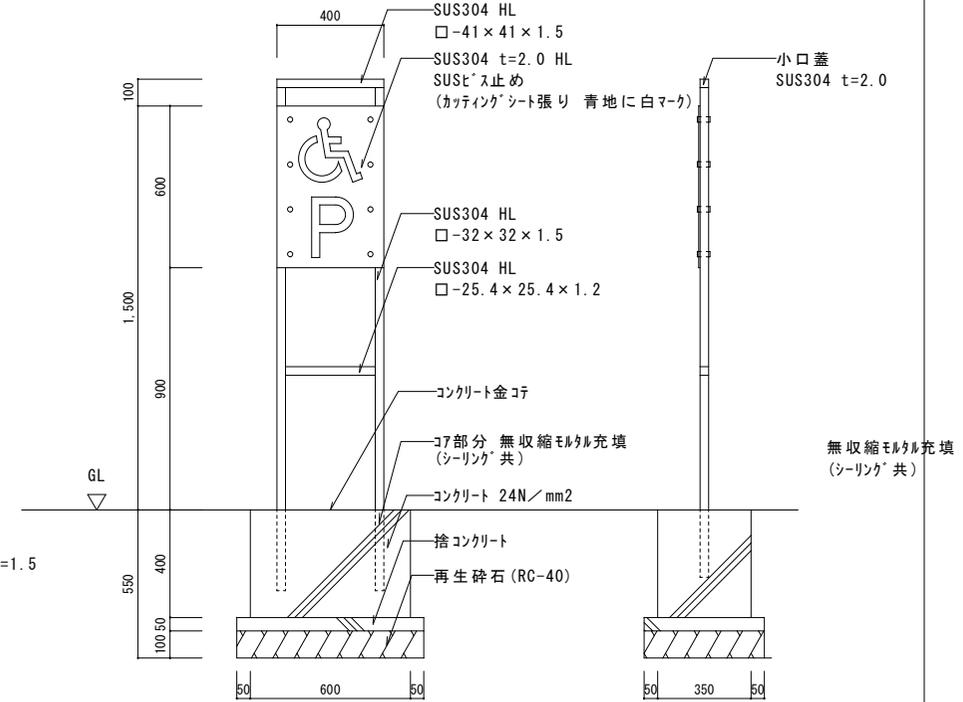


平面・屋根伏図

- 注：( ) 寸法は、中学校用とする。  
 ・鉄部は、錆止め 1回 DP (3級) 塗りとする。  
 ・土間配筋は、縦横共 D10-@200 とする。  
 ・コンクリート強度 基礎 (24+SN/mm<sup>2</sup>)、土間 (24N/mm<sup>2</sup>)  
 捨てコンクリート18N/mm<sup>2</sup>  
 ・柱はSTK材、梁はSS材、ハーフプレートはSN材使用のこと。

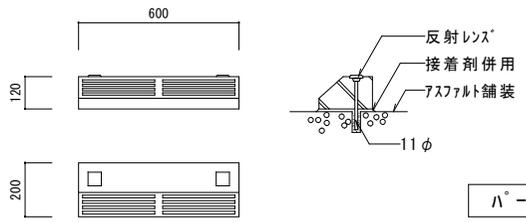


駐車ライン(単線・2本線・身障者マーク) S=1:50

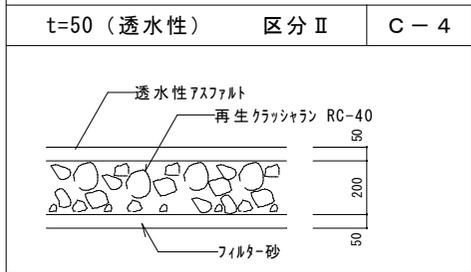
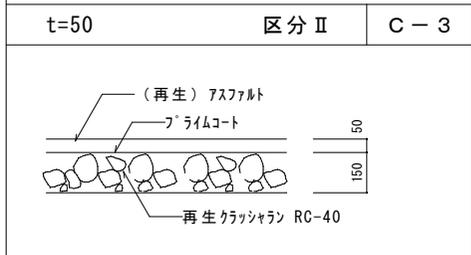
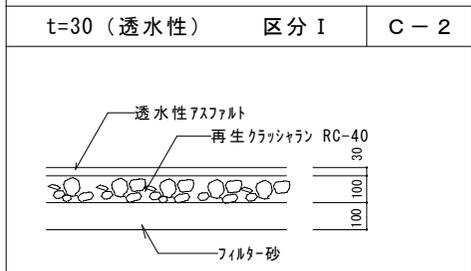
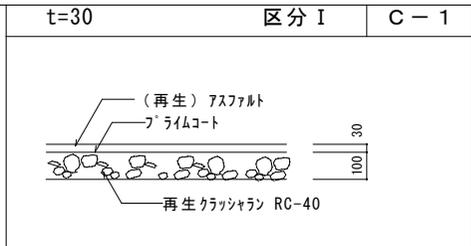
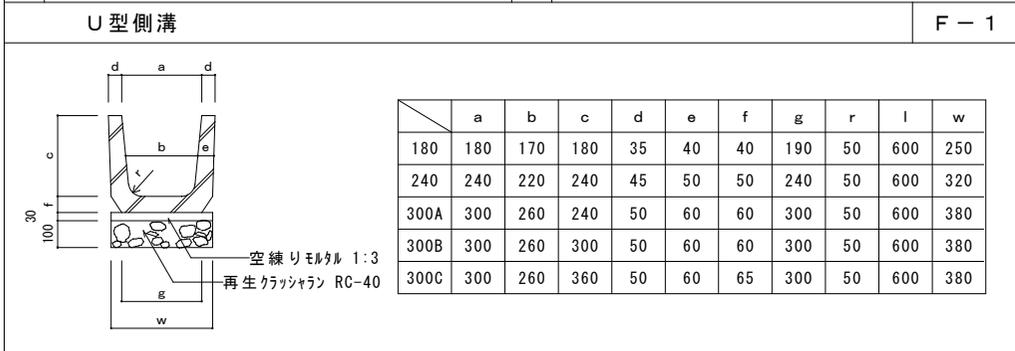
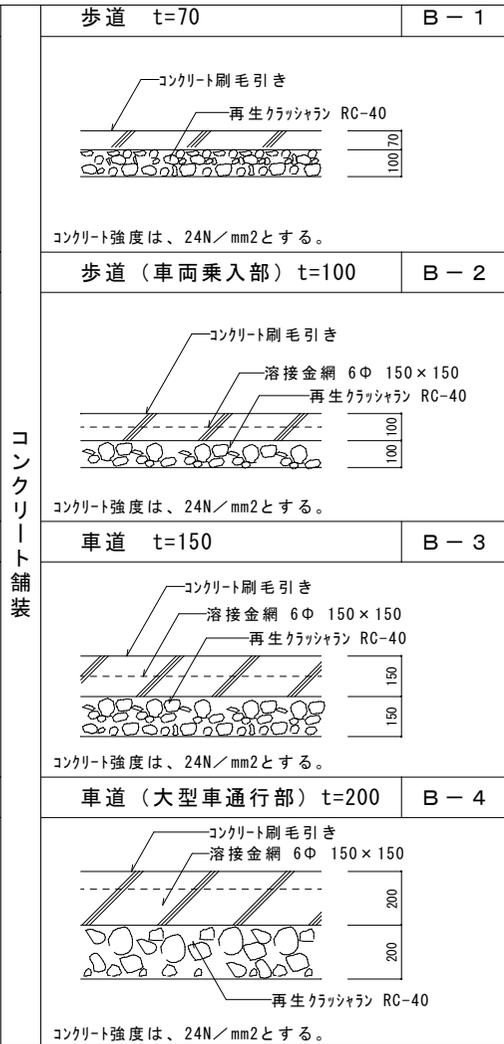
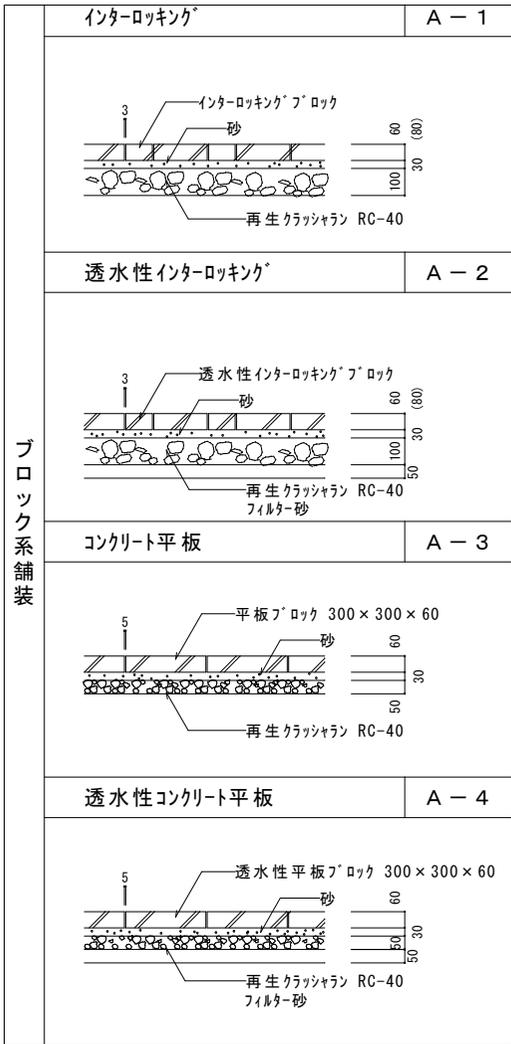


身障者用表示板 S=1:20

※コンクリート強度は、 $F_c=24N/mm^2$ とする。  
 両面仕様は、図面特記に依る。  
 コンクリート基礎の天端には水勾配を設けること。

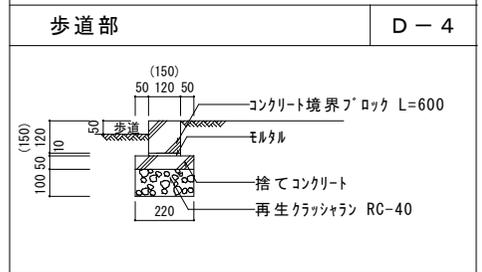
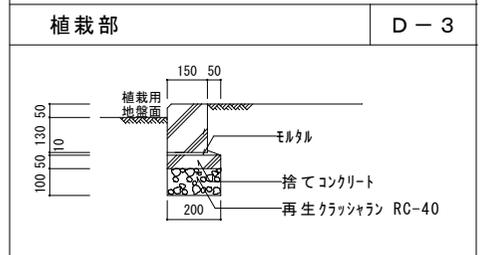
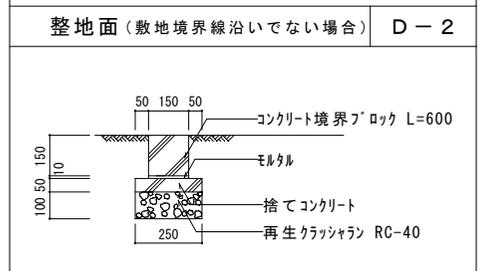
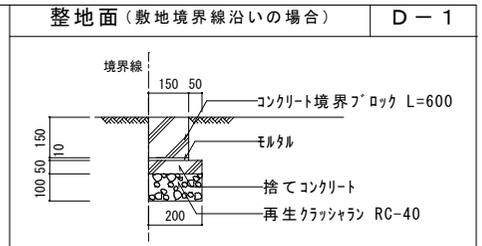


駐車ライン・身障者マーク 身障者用表示板 標準図	縮	1:50	図 令和6年4月 番 4-1	一宮市建築部 公共建築課
	尺	1:20		



区分 I 歩行者、自転車の交通に供する歩道、自転車道。

区分 II 歩行者や自転車以外に、最大積載量 4 t 以下の管理用車両や限定された一般車両の通行する歩行車系道路 (駐車場等)



呼び名 A : 120 × 120 × 600  
呼び名 B : 150 × 150 × 600

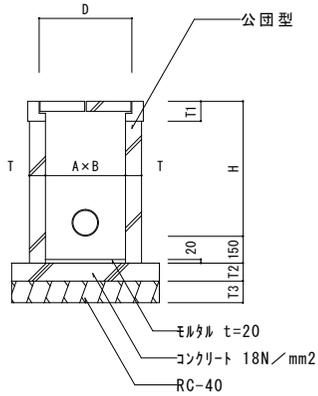
( ) 寸法は、呼び名 B とする。

集水桝

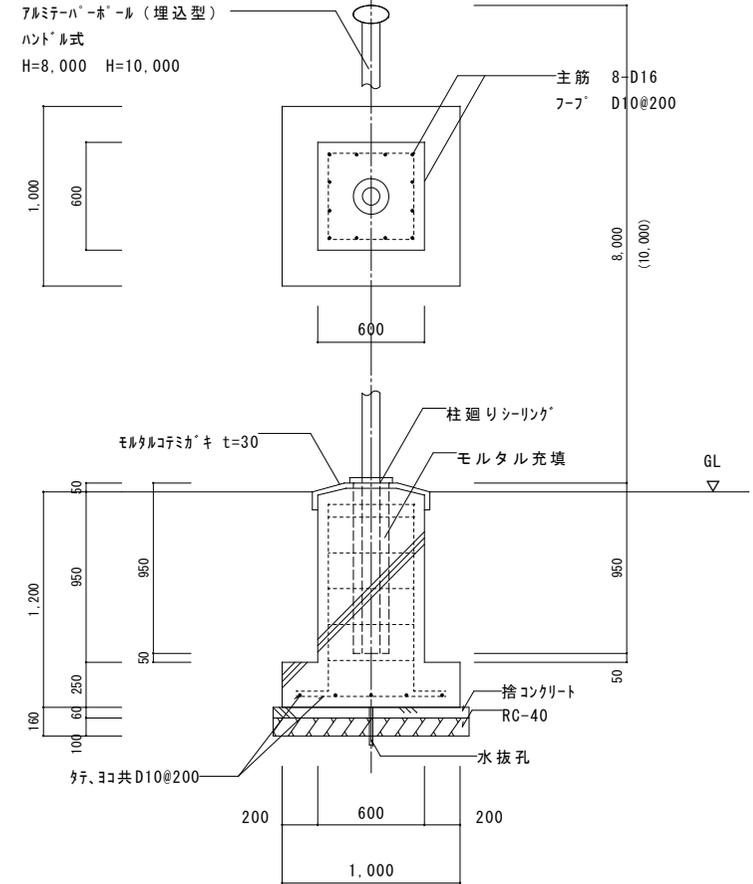
F-2

旗受けホール

G-3



A x B	深さ H	T	T1	T2	T3	D
300 x 300	600以下	75	110	100	120	380
450 x 450	610 ~ 900	90	110	100	120	560
600 x 600	910 ~ 1500	90	125	100	120	720
750 x 750	1510 ~ 2100	90	125	100	120	870

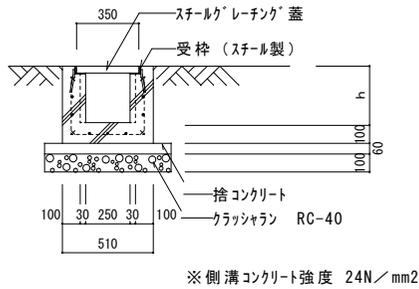


現場打側溝

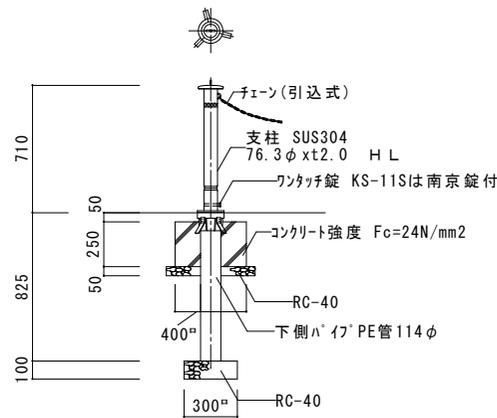
F-3

ステンレスハリカー

G-2



※側溝コンクリート強度 24N/mm2

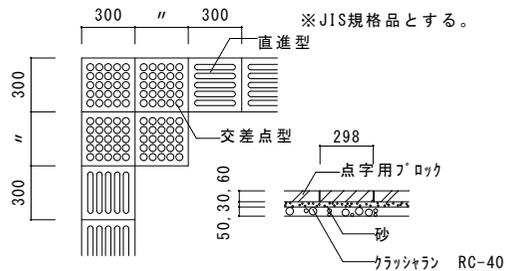


- (注) 1. スライド式単独使用箇所は 帝金KS-11S 同等品  
 2. スライド式割り内蔵型は 帝金KS-11CS 同等品  
 3. スライド式割り内蔵型端部は 帝金KS-11CTS 同等品  
 4. 固定式は、帝金KS11S-SD同等品

※旗竿旗受けホール FH-8 FH-10程度 旗 900 x 1,300共。  
 コンクリート強度 (基礎) 24+S N/mm2 (捨て) 18N/mm2  
 ※基礎については、メーカー推奨を優先とする。

障害者用点字ブロック

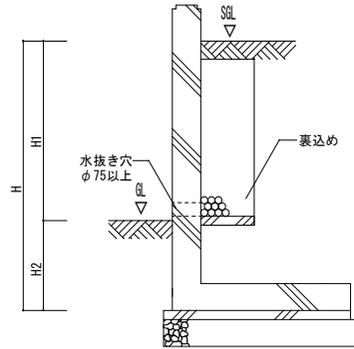
G-1



集水桝・現場打側溝・点字ブロック  
 ハリカー・旗受けホール 標準図

縮尺	1:30	図番	令和6年4月 4-3	一宮市建築部 公共建築課
----	------	----	---------------	-----------------

土留擁壁参考図(申請地と隣地との高低差(H1)が1mをこえる場合)



※一宮市開発許可技術基準対応

※構造は現場打鉄筋コンクリート擁壁または既製コンクリート擁壁とする。

※現場打鉄筋コンクリート擁壁の場合は構造計算による安全性の確認、又は名古屋市認定擁壁基準のいずれかを満たすものとする。

※既製コンクリート擁壁の場合は構造計算による安全性の確認、又は大臣認定擁壁基準のいずれかを満たすものとする。

※擁壁の根入れ深さ(H2)は壁高(H)の0.15倍以上、かつ35cm以上を目安とする。ただし、構造計算による安全性の確認ができるものは、この限りでない。

※裏込め、水抜きは、径75mm以上とし3m以内に1箇所以上設けるものとする。

※高さが2mをこえる擁壁(建築基準法施行令第138条)の場合は、建築基準法の規定を準用する。

※申請地と隣地との高低差(H1)が1m以下の場合についても、擁壁の安全性は確認すること。

※隣接して、水路構造物等がある場合は根入れ深さは、一宮市開発許可技術基準による。

土留擁壁 標準図

縮  
尺

1 : 30

図  
番

令和 6 年 4 月

4-4

一宮市建築部  
公共建築課